TCPLink スタンダード／DirectLink FAQ一覧

キヤノンITソリューションズ株式会社 2026/04/22

このFAQには、過去にお客さまからのお問合せが多かったものを記載しています。
V5.03-01以降を対象とします。

区分	ID	よくあるお問合せ　（Q）	接続種別	回答　（A）
1.動作環境	1-001	利用できるセッション数（ディスプレイ、プリンタ）の上限はいくつですか？	すべて	Ver5.04-03以降 合計１０セッション利用可能です。比率は１０：０～０：１０の範囲で任意に割り当てられます。 Ver5.04-01以前 合計１０セッション利用可能です。ディスプレイセッション、プリンタセッションそれぞれ、上限５セッションまで割り当てられます。
1.動作環境	1-002	LU名は設定できますか？	TCPLink 3270 TCPLink 6680 TCPLink 560/20	エミュレータのプロパティの[通信設定]タブで、 対象のセッションを選択して右側「設定」ボタンを押下してください。 セッション画面の「接続先設定」タブで設定します。 ・TN3270,TN6680,TN560の場合は、 端末種別の後ろに「@」をつけ、続けてLU名を入力します。 ・TN3270Eの場合は、 「TN3270Eプロトコルの使用」にチェックをつけ、 「デバイス名」にデバイス名を入力します。
1.動作環境	1-003	以下のWindows Updateの更新プログラムを適用した場合、影響はありますか？ ・Windows 10 November 2021 Update（バージョン 21H2） ・Windows 10 2022 Update（バージョン 22H2） ・Windows 11（バージョン 21H2） ・Windows 11 2022 Update（バージョン 22H2） ・Windows 11 2023 Update（バージョン 23H2）	TCPLink 3270 DirectLink 3270 TCPLink ETOS	下記現象を確認しています。 ◎現象１ エミュレータの機能キー「カナモード」でカナ・ローマ字入力モードに切り替え、半角カナを入力すると、Microsoft IMEが起動し半角カナが入力できず、全角入力になります。 〇接続種別 ・TCPLink 3270 ・DirectLink 3270 〇回避方法 エミュレータの機能キー「カナモード」を使用せず、Microsoft IMEから半角カナを入力してください。または、IME設定で「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」をオンに設定してください※１。 ◎現象２ エミュレータの機能キー「カナR切替」でカナ・かな入力モードに切り替え、かなを入力すると、かなが入力できず、ローマ字入力になります。 〇接続種別 ・TCPLink 3270 ・DirectLink 3270 ・TCPLink ETOS 〇回避方法 エミュレータの機能キー「カナR切替」を使用せず、Microsoft IMEからかなを入力してください。または、IME設定で「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」をオンに設定してください※１。 ◎現象３ エミュレータの機能で下記設定を行った場合、FEP自動解除を使用しない設定にしても、漢字フィールドからANKフィールドへカーソルが移動するとFEP が自動解除されてしまいます。 ◇エミュレータ設定内容 ･エミュレータのプロパティ「FEP自動起動」：ON ･エミュレータのプロパティ「FEP自動解除」：OFF ･エミュレータのプロパティ「かな/ローマ字入力」：かなモード 〇接続種別 ・TCPLink ETOS 〇回避方法 手動でIMEを切り替えてください。または、IME設定で「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」をオンに設定してください※１。 ■※１　IME設定による回避方法Microsoft IME設定で「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」をオンにする設定手順 １．スタートメニューの[設定]（歯車アイコン）をクリックします。 ２．「Windowsの設定」の「設定の検索」ボックスに「IME」と入力し、「日本語 IME 設定」を選択します。 ３．「全般」を選択します。 ４．「以前のバージョンの Microsoft IME を使う」をオンにします。

© Canon IT Solutions Inc.2026

区分	ID	よくあるお問合せ　（Q）	接続種別	回答　（A）
1.動作環境	1-004	以下のWindows Updateの更新プログラムを適用した場合、影響はありますか？ ・Windows 11 2024 Update（バージョン 24H2） ・Windows 11 2025 Update（バージョン 25H2）	すべて	下記現象を確認しています。 ◎現象１ エミュレータの機能キー「カナモード」でカナ・ローマ字入力モードに切り替え、半角カナを入力すると、Microsoft IMEが起動し半角カナが入力できず、全角入力になります。 〇接続種別 ・TCPLink 3270 ・DirectLink 3270 〇回避方法 エミュレータの機能キー「カナモード」を使用せず、Microsoft IMEから半角カナを入力してください。または、IME設定で「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」をオンに設定してください※１。 ◎現象２ エミュレータの機能キー「カナR切替」でカナ・かな入力モードに切り替え、かなを入力すると、かなが入力できず、ローマ字入力になります。 〇接続種別 ・TCPLink 3270 ・DirectLink 3270 ・TCPLink ETOS 〇回避方法 エミュレータの機能キー「カナR切替」を使用せず、Microsoft IMEからかなを入力してください。または、IME設定で「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」をオンに設定してください※１。 ◎現象３ エミュレータの機能で下記設定を行った場合、FEP自動解除を使用しない設定にしても、漢字フィールドからANKフィールドへカーソルが移動するとFEP が自動解除されてしまいます。 ◇エミュレータ設定内容 ･エミュレータのプロパティ「FEP自動起動」：ON ･エミュレータのプロパティ「FEP自動解除」：OFF ･エミュレータのプロパティ「かな/ローマ字入力」：かなモード 〇接続種別 ・TCPLink ETOS 〇回避方法 手動でIMEを切り替えてください。または、IME設定で「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」をオンに設定してください※１。 ■※１　IME設定による回避方法Microsoft IME設定で「以前のバージョンのMicrosoft IMEを使う」をオンにする設定手順 １．スタートメニューの[設定]（歯車アイコン）をクリックします。 ２．「Windowsの設定」の「設定の検索」ボックスに「IME」と入力し、「日本語 IME 設定」を選択します。 ３．「全般」を選択します。 ４．「以前のバージョンの Microsoft IME を使う」をオンにします。 ◎現象４ UPF設定ツールで、「データ」欄、「コメント」欄に長い文を登録していると、UPF情報（UPF1～UPF32）の一覧に表示される横スクロールバーが、マウスで操作できない。 〇接続種別 ・すべて 〇回避方法 UPF情報（UPF1～UPF32）が表示されているリストにフォーカスを当て、キーボードの「←」「→」キーで操作する。 ◎現象５ 状況依存ヘルプを表示すると、文字化けする。 ・ディスプレイセッション ・プリンタセッション ・ホストリンクエクスプローラ ・プリントジョブスケジューラ ・マクロコントローラ ・エミュレータのプロパティ ・キーアサイン ・コードテーブル設定 ・UPF設定 ・エミュレータスタイルの設定 ・ホットスポット設定 ・マクロ編集 ・[3270] CJSBDX制御パネル ・[6680] コーラス ・[ETOS] UAパスファイル転送 ・[ETOS以外] ファイル転送パネル] 〇接続種別 ・すべて 〇回避方法 ありません。 ◎現象６ エミュレータ保守ツールでイベントログの「出力する」をチェックしていても、セッション起動やセッション終了、通信チェックなどのイベントログが出力されない。 〇接続種別 ・すべて 〇回避方法 ありません。
4.実行	4-001	文字入力時、INSERTキーを押下すると、挿入モードになりますが、再度INSERTキーを押下しても上書きモードに戻りません。再度INSERTキーを押下して上書きモードにすることはできますか？	TCPLink 3270 DirectLink 3270	標準設定では、INSERTキーに機能キー「挿入オン」が割り当てられています。機能キー「挿入オン」では、上書きモードには切り替えられません。 挿入モードへ変更する機能キーとしては、他に「挿入切替」があります。 「挿入切替」は挿入モード／上書きモードを切り替えられますので、キーアサインツールで「挿入切替」の割り当てを行ってください。

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

© Canon IT Solutions Inc.2026